



◆ 人と人をつなぐもの ◆

朝、登校するこどもたちを迎えていると、こどもたちから、私に目を合わせて、元気のよい「おはようございます」というあいさつが返ってきます。田布施西小学校のこどもたちは、とても気持ちの良いあいさつをするなあと感じています。

あいさつは、「相手のことをちゃんと認めています」というサインであり、相手の気持ちを一瞬で明るくさせる「魔法のことば」でもあります。そして何より、よりよい人間関係を築く大切なコミュニケーションの一つだと思います。

「あいさつは大切であり、あいさつがきちんとできることは社会人として必須である。」とは誰もが言うところです。では、なぜ大切なのかそれは、人と会った瞬間にあいさつをすると、お互いにつながった気持ちになる、あなたの仲間ですよと心を開いて安心できる、そんな力をもっているからだと思います。何も言わないでいるより、にこにこ笑顔であいさつする方が気持ち良いですね。

日本経団連が2018年度まで実施していた「新卒採用に関するアンケート調査」の「(新卒の)選考時に重視する要素」の結果によると、それまでの16年間連続して「コミュニケーション能力」が1位となっています。小学校段階だけでなく、こどもたちにとっては、今後の未来も大切になってくる資質・能力の一つだと考えています。

そこで、こどもたちにとって、コミュニケーションの最も基礎的な場となるのは、それぞれのご家庭です。「おはよう・おやすみ」、「いただきます・ごちそうさま」、「行ってきます・ただいま」、「行ってらっしゃい・おかえり」など、様々なあいさつの機会があります。学校と家庭とで手を取り合って、コミュニケーションの力の最も基礎となるあいさつがしっかりとできるこどもたちにしていきたいものです。

「教育は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、社会の教えで実を結ぶ」

こどもたちの健やかな成長という共通の目標に向かって、これからも、学校・家庭・地域が互いに連携していきたいと思えます。

藤田 守弘

〔学校教育目標〕

すべての子どもたちが主体的に学び続け 人間性豊かに生きる子どもの育成

進んで学ぶ子ども

たくましい子ども

思いやりのある子ども

24の日（にしの日）



あいさつ運動



朝学習「フリートーク」



毎月24日（休日の場合は前日）は、24（にし）の日（あいさつデー）です。今年度も変わらず実施します。7時25分頃から、田布施西小学校講堂周辺で児童、保護者、地域の方、教職員であいさつ運動を行います。

4月24日（金）に行った今年度はじめての24の日は、晴天にも恵まれ、多くの方にご参加いただきました。人が集うことで活気が生まれ、子どもたちのあいさつの声や表情も、いつも以上に気もちのよいものになっているように感じました。

あいさつ運動の後には、朝学習の時間「フリートーク」に、地域の方々にも参加していただきました。テーマに沿って、地域の方や友だちと考えを交流する機会を子どもたちは楽しんでいるようでした。24（にし）の日の朝学習は、各学級でフリートークを行いますので、ぜひ、ご参加ください。

今年度も皆様のご協力をいただきながら、豊かに関わり、気もちのよいあいさつが溢れる学校をめざしていきたいと思います。どうぞ、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

参観日・PTA総会

4月22日（火）に参観日、PTA総会、学級懇談会を実施しました。PTA総会には、77名の保護者の方々に出席いただき、6つの議案について審議していただきました。

今年度はじめての授業参観では、張り切って発表する児童や集中して学習に取り組む児童、緊張気味の児童と、お子様の学習の様子を見ていただけただけではないでしょうか。PTA総会、授業参観、学級懇談会と、多くのご参加ありがとうございました。



ポジティブ行動支援に取り組んでいます

田布施西小学校では、学校全体でポジティブ行動支援（SWPBS）に取り組んでいます。ポジティブ行動支援とは、子どものポジティブな（望ましい）行動をポジティブな方法（促す、教える、価値づける）で増やしていく支援を学校全体で行っていくものです。保護者の皆様や地域の方々と一緒に取り組んでいきたいと考えています。「今できていること」や「いつもよりよかったところ」に注目して、ポジティブな働きかけ（褒める）をとともに行っていきましょう。よろしくお願いいたします。